事例No.	2141
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	岐阜県各務原市

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・ICT ・人材確保・育成

事例種類	教育

事例内容・タイトル

ものづくりの工程をタブレット端末で見学できるオンライン寺子屋

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

161 ものづくりの工程をタブレット端末で見学できるオンライン寺子屋【岐阜県各務原市】

事業の概要

○　市内の児童生徒が将来の目標や夢を持ってもらうことなどを目的に、市内企業を見学する「かかみがはら寺子屋事業 ものづくり見学事業」を、学校から配布されたタブレット端末を活用し、自宅や学校に居ながら、まるで工場見学に行っているかように学ぶことができる事業を展開している。

○　動画は、ヘリコプターができるまでの「航空機産業コース」、自動車ができるまでの「自動車産業コース」、身の回りのもの（ドーナツ・医療品・日用品）ができるまでの「生活産業コース」の全３コースで構成されている。

○　視聴方法は、学校から配布されたタブレット端末を使用する場合は、学校専用の共有フォルダから、また、一般のタブレット端末やパソコンなどの場合は、YouTubeから視聴できる。

○　普段なかなか見ることができない製造現場の様子を行程に沿って映しているため、どのようにして「モノ」が完成するのか理解できる。
　また、動画内にはいくつかのクイズコーナーもあるため、親子で一緒に視聴しても楽しむことができる。



【参考情報】 人口：14.7万人
関連URL：
https://www.city.kakamigahara.lg.jp/kodomo/1013157/1014231/1014731.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。


（各務原市）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、直接現地での工場見学ができない状況になったことから、その代替方法として、見学をオンライン化し、市内企業を知ってもらう機会を確保しようと考えました。



事業の近況を教えてください。



令和４年3月1日時点での再生回数が、航空機産業コース655回、自動車産業コース316回、生活産業コース322回となっており、日々増え続けている状況です。
現在は、新たなコースを検討中です。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



教育現場のIT化が加速する中、コロナに関係なく、事業のオンライン化は、子どもたちを対象にしたものでもスタンダードな手法になっていると考えます。
　ただ、リアルだからこそ得られる経験や満足感もありますので、それぞれのメリットや効果を踏まえた手法の選択が求められるでしょう。

★担当：各務原市商工振興課企業人材全力応援室★

令和3年度事業費　1,788千円